教職員の自己評価　　12月

R4　漢那小学校

		項目	評価 12月	評価 7月	○感想　■考察
1	教育目標他	1, 全職員が共通認識を持って、教育目標、重点目標の具現化に努めている。	3.1	3.1	○支援員の先生、他職員の皆さんに環境整備をしてもらっています。担当も時間を作って関わるようにしたいです。 ○提出期限があるものは早めに取り組むことが大切と改めて感じました。
		2, 公務分掌を全職員が理解し、職務の遂行に努めている。	3.2	3.2	
2	教育課程	3, 日課、週時程は適切に編成されている。	3.2	3.2	○行事は教科に含まないようにしたい ○みんなで協力して行事に取り組むことができたと思います。
		4, 学校行事は精選され、教育目標に則して運営・実施されている。	3.2	3.2	
		5, 学校行事は職員の共通理解が図られ、共同体制のもとで実施されている。	3.1	3.2	
3	学力向上	6, 朝のドリルの工夫・改善に努めている	3.2	3.2	○反省として調査結果の分析を行えていませんでした。
		7, 学推担当を中心に児童の課題に即した対応を確認し、継続的に取り組んでいる。	2.8	3.2	
		8, 学習評価を確認し、授業改善に生かすなど、組織的・継続的に取り組んでいる。	3.2	3.1	
		9, 一人一人のよさや可能性を見つけ、評価している。(褒めたり、自己肯定感を高める)	3.4	3.2	
		10, 諸調査結果を分析・対応策を考え、授業に生かしている。	3.1	3.1	
4	研修（内外）	11, 研究主任を中心に計画的に実施され、教師が主体的に参画している。	3.1	3.3	○思考できるような発問や対話ができるように工夫が必要と思いました。
		12, 「学ばせる」授業から、児童が「学ぶ」授業への転換を意識し、授業改善に努めている。	3.3	3.0	
		13, 他者と関わりながら、主体的に学ぶ児童の育成が図られている。	3.1	2.9	
		14, 児童の振り返り(の充実:視点をあたえる, 記述指導)から、授業改善につなげている。	2.8	3.1	
5	各教科	15, 「漢那スタイル」を意識した授業の工夫・改善を行っている。	3.2	3.4	○正しい言葉づかいができていないことがあったので気をつけていきたいと思います。 ○頑張りノートの点検、評価がうまく出来なかった。効果的な活用について考えたい。 ○授業で授業時間内で伝えたいことをしっかりおさえて振り返りできるように頑張ります。 **■ICTを活用した協働的な学びが展開できるようになり、新しい授業スタンスの方向性が見えたのは、成果である。協働的な学びを活かしつつ、子どもの主体的な学びに繋がるような研修を計画したい。**
		16, 学習規律の徹底を図っている。(「宜野座っ子5つの約束」含む)	3.4	3.2	
		17, 教師自身が正しい言葉づかいをし、言語活動を意識した授業をしている。	3.3	3.3	
		18, 授業と連動した宿題を与えている。	3.4	3.1	
		19, 児童は、わからないことを友達や教師に聞くことができる。	3.2	3.0	
		20, 児童に自主学習ノート(がんばりノート)の取り組みを奨励している	3.4	3.2	
6	道徳	21, 適切な教材や資料を活用し、「自分事として」捉えられるような授業展開に努めている。	3.3	3.0	○相互に意見が交換できる、自分の考えを主張することができていない。
		22, 友達のよさを認めるなど、お互いに尊重し合う人間関係の構築に努めている。	3.3	3.1	
7	特別活動	23, 話し合い活動の充実を図っている。	3.0	2.3	○振り返りができていないことが多いところを反省して時間を意識して授業したいと思います。 **■自己肯定感を高めるためには、自治的な活動が不可欠です。縦割り班活動とともに漢那小の軸となる活動になるよう、進めていきたい。**
		24, 自己決定の場を意識し、自治的な活動を支える授業計画を行っている。	3.0	2.9	
		25, 児童が「計画」「実践」「振り返る」など、主体的な活動を促している。	2.9	2.9	
8	総合	26, 学年の指導内容は、計画に基づいて適切に実施されている。	3.3	2.9	
9	生徒指導	27, 教職員の組織的な連携体制のもと、推進している。	3.4	3.2	○問題が起きた時に、担任と管理職、その他職員の連携がしっかりできている様子がみられた。 ○児童との信頼関係づくりについて悩むことがある。
		28, いじめ、不登校、問題行動等について、未然防止に努め、ていねいに対応している。	3.4	3.3	
		29, 生徒指導3つのポイントを意識した指導を行っている。	3.3	3.3	
10	健康安全	30, 安全点検や避難訓練を計画的に実施するなど、危機管理の充実に努めている。	3.5	3.4	
		31, 施設・設備の点検を定期的に行い、改善の方策が図られている。	3.3	3.6	
11	特別支援教育	32, 気になる児童への対応については共通理解を図り、対応を進めている。	3.7	3.2	○つまずきがあってそのまま復習をする計画ができていなかったこともあるので注意して取り組みたいです。
		33, 子どもの見取りを大切にし、小さなつまずき等を確認したときは、特別支援コーディネーターや教育相談担当へ相談している。	3.4	3.4	
12	キャリア教育	34, キャリア教育の基礎的・汎用能力の視点を踏まえた各教科・領域の指導に努めている。	3.2	3.1	
		35, 児童一人一人の夢や希望を育む指導の工夫がなされている。(キャリアパスポートの活用)	3.1	3.1	
13	情報教育	36, 授業で、ICT機器を効果的に活用している。	3.6	3.4	
		37, 情報モラル教育を系統的・継続的に行っている。	3.3	3.3	
14	図書	38, 各教科や総合的な学習の時間等において、図書館を利用している。	3.4	3.7	○調べ学習に関して図書よりネットを検索していないだろうか ○司書の先生が、ビンゴなど様々な取り組みをして児童も楽しんで本を借りている様子がみられた。 ○読書ノートやプレゼントもあり意欲的に図書館にいきたいという児童が多いです。
		39, 読書環境が整えられ、図書館行事が充実している。	3.5	3.7	
15	地域連携	40, 家庭や地域と連携・協働して、教育活動を行っている。	3.0	3.1	
		41, 地域素材・人材を活用した学習をしている。	3.1	3.0	
16	設備	42, 学校備品を有効に活用し、管理を適切に行っている。	3.3	2.9	
		43, 花壇や教材園を含め、学校環境は整備されている。	3.2	3.0	

総合評価　3.2　3.2

【考察】
7月と比較し、各担当が意識的に取り組んでいる様子が伺えます。楽しい学校の実現は、子どもが思い描くことが実現できることと、学習のバランスが不可欠です。全職員で一致団結し、休みたくない学校づくりに努めていきましょう。